美術博物館この１冊

芦屋ゆかりの美術史資料・図録を頒布

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432

芦屋市立美術博物館は、美術部門・歴史部門からなる複合施設として、平成３(1991)年に開館しました。

歴史に関しては、芦屋市史の編纂をはじめ、埋蔵文化財および文献資料調査の蓄積がありましたが、芦屋の美術に関しては、開館準備の平成元年から始まり、開館後も主として芦屋にゆかりのある美術作品の収集・調査・展示を行ってきました。

それらの収集・調査に基づき、これまで多くの展覧会を開催してきた中で、芦屋と文学また美術史を語る図録資料が美術博物館に蓄積されてきました。

今回は、まだ頒布可能な図録の一部をご紹介します。

貴重な資料である図録を手に取って、芦屋ゆかりの作品、またその作品の誕生した時代、さらにはその頃の芦屋に思いをはせていただければ幸いです。

■図録「伊勢物語と芦屋」＜2000年特別展＞

芦屋は古来より、歌名所として多くの秀歌が残されています。なかでも、平安時代に成立した「伊勢物語」に取り上げられた影響は大きく、在原業平ゆかりの地として広く一般に知られるようになりました。

本図録では「布引の滝」と共に「芦屋の浜」が描かれた伊勢物語第87段をはじめ、書跡・絵画・工芸品などあらゆる分野において、独自の世界を形成している伊勢物語をさまざまな角度から取り上げています。　1,000円

図録より

■図録「二楽荘と大谷探検隊Ⅱ」＜2003年特別展＞

二楽荘とは、兵庫県武庫郡本山村岡本(現神戸市東灘区岡本)に浄土真宗本願寺派第22世門主の大谷光瑞によって建てられた別荘です。

本図録では、二楽荘の歴史的経緯・経過を基本に据えながら、仏教教育の推進や中央アジアやインド全域に調査活動を展開した大谷探検隊に伴う西域文化研究・園芸・気象観測・印刷など、荘内で行われていたさまざまな活動内容を深く検討しながら、地域との関連性を追求しています。

〈右・図録より〉

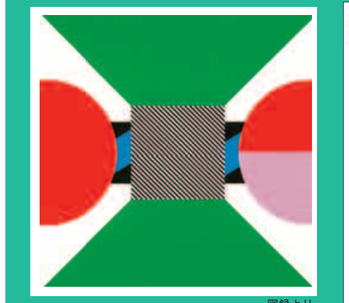
1,500円

■図録「ＡＣＣ」＜1998年＞

ＡＣＣとは、芦屋を中心に活動していた中山岩太・ハナヤ勘兵衛や、紅谷吉之助・高麗清治らによって結成された「芦屋カメラクラブ」という会の略称です。

この図録は、後にＡＣＣに参加した山川健一郎・松原重三を加えた計６人の作品を収録しています。

中山の作品である＜福助足袋＞は、第１回国際広告写真展で一等賞を受賞。この作品の、簡素で大胆なグラフィック・センスは衝撃をもって迎えられ、以後の広告写真の流れに決定的な影響を与えたといわれています。　1,000円



図録より

■図録「菅井汲　版画の仕事　1955～1995」

菅井汲は大正８年、兵庫県武庫郡御影町(現神戸市東灘区御影町)に生まれました。戦後日本の画家としては最も早い時期にパリに定住し、1955年から版画作品を発表し始め、95年までの40年間、油彩作品と平行しながら版画芸術を確立し、新たな画境を切り開きました。本図録では、菅井汲が渡欧以前、阪急電鉄宣伝課在職時代に作成したポスターから、フォルムと色彩の単純化を突き進めたダイナミックな躍動感溢れる版画作品まで106点を収録しています。＜1997～98年・巡回展＞　1,000円

500円

■図録「コシノヒロコ展　2004」

日本を代表するファッションデザイナーの一人として注目を集めてきたコシノヒロコ氏が、平成16年に「コシノヒロコと芦屋」をテーマに開催した展覧会の図録。ドローイング、ファッションデザインや宝塚歌劇「シニョール　ドン・ファン」のデザイン画、書画、絵画などを掲載。幅広い創作活動から導かれる、ライフスタイルを提案。　＜2004年＞

図録より

図録より

■図録「ＮＡＫＡＤＡ」＜1992年＞

平成４年に開催された「仲田好江展―自分をみつめ、自分を描く―」の図録。仲田好江氏は幼年時代から芦屋で過ごし、20歳の頃から絵に興味を持ち大阪の信濃橋洋画研究所に通いはじめました。そして大正15年芦屋に転居してきた小出楢重のアトリエをしばしば訪れるようになり、油絵の手ほどきを受けました。戦後は、女流画家協会の創立に参加。その画風は一貫して女性のやさしさと気高い香りを漂わせています。　1,000円

図録より

800円

■図録「富田砕花の世界」＜1998年特別展＞

富田砕花は、大正初期から詩集「末日頌」・ホイットマン訳詩集「草の葉」・カーペンター訳詩集「民主々義の方へ」・評論集「解放の藝術」などを世に送り出し、詩壇に大きな足跡を残しました。

大正10年、芦屋に定住してからの砕花の文学活動は、ますます盛んなものとなりました。50余編にのぼる校歌や市町歌を作詞し、その多彩な文化的業績から、「兵庫県文化の父」とも呼ばれました。本図録では、富田砕花直筆の原稿・書簡・住まい・富田自身の写真などを通して、詩人富田砕花の足跡をたどっています。

図録より

■図録「阪神名勝図絵～市外居住のすゝめ～」＜2005年＞

大正期の阪神間の面影を色濃く伝える版画集を紹介したもの。住宅街としての阪神地域は、明治38年阪神電鉄が大阪出入橋－神戸三宮間を開通させてから、その沿線開発とともに急激に進みました。

阪神名勝図絵は、大正５年大阪朝日新聞社に連載され、翌年、金尾文淵堂から出版されました。ここには、大正期の尼崎・西宮・香櫨園・芦屋・三宮・三田などが掲載されています。大正期、都市に暮らす人々が阪神間に求めた理想、「市外居住」の原風景とは…。　1,000円

図録より

1,000円

■図録「大橋了介・エレナ展」＜1993年＞

芦屋ゆかりの作家の一人、大橋了介は明治28年滋賀県彦根に生まれました。昭和２年パリの佐伯祐三を訪ねた際、その壮絶な製作態度と悲劇的な死を目前にし、画業の上で決定的な影響を受けました。一方、パリの絵画研究所でエレナと出逢い、ともに帰国し、昭和10年芦屋に移り住みました。

本図録では、大橋了介の画業をはじめ不遇の画家了介に尽くし、その没後も遺作を守り通したエレナ夫人の作品を収録するとともに、２人の足跡を写真資料等で紹介しています。

厨屋雅友
「ファン・ゴッホに捧ぐ」
1991年・24×30cm・
テバクローム/図録より

■図録「オマージュ　ファン・ゴッホ」＜2000年＞

フィンセント・ファン・ゴッホの作品は世界中で親しまれ、日本でもたびたび紹介されてきました。

ファン・ゴッホのアルル滞在100年を記念してアルルフィンセント・ファン・ゴッホ財団を創設したヨランド・クレルグは著名な現代美術作家たちに呼びかけて、ファン・ゴッホの夢に謹んでオマージュを捧げるための作品を集めてきました。

本図録では、財団の協力を得て、現代の美術家によるファン・ゴッホに捧げる作品を紹介しています。現代美術の作家たちが尊敬と友愛を込めて捧げる作品は、時間を経ても今なお親しまれるファン・ゴッホの偉大さを示しているといえるでしょう。　900円

1月 テレビ広報番組ガイド 9ch

芦屋市広報番組　あしや30サーティーmin.		放送時間〔30分〕
新春市長対談	いましかできないことを　おもいっきり！ 今が青春。 ＜山中市長 vs 高校生の皆さん＞ ◆小曳未来さん(県立芦屋高校３年) ◆宮田紘希さん(県立国際高校１年) ◆中村洋輔さん(甲南高校２年) ◆大迫浩貴さん(芦屋大学附属高校２年)	①8:00 ②11:30 ③16:00 ④19:30 ⑤22:30 ※ビデオテープ貸出可
特　集	「伝えてほしい　あなたの　となりの人に」 私たちのまちの　阪神・淡路大震災	

■番組に関する問い合わせ　広報課　☎38-2006　■CATV全般に関する問い合わせ㈱ケーブルネット神戸芦屋(J：COM)カスタマーズセンター　0120-13-8160

富田砕花旧居の開館日

■開館日時　毎週水曜日・日曜日
午前10時～午後４時
(入館は午後３時まで)
＊年始は、１月６日(日)から開館
■所 在 地　宮川町4-12

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432

ゆっくり生きる。　What Is the Real Nature of Being?

スローフード、スローライフ、ロハスといった言葉が一般的に語られるようになり、ゆっくりなことが見直されるようになってずいぶん経ちます。

本展は、速さを念頭におかない、速度を気にすることのない時間の捉え方を実感することを目指した、赤崎みま・松井智惠・森口ゆたかによる仕事を紹介します。

■会期　１月12日～２月24日・午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)＜月曜日休館＞＊ただし、１月14日・２月11日は開館。各翌日は休館します　■会場　美術博物館　第１・第２展示室　■観覧料　一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料＊( )内は20人以上の団体料金

【同時開催】　１月12日～３月16日
「昭和の面影２　～くらしと道具～」

【関連企画】１月19日(土)午後２時～３時
「松井智惠＋薮内美佐子パフォーマンス」

【関連企画】「アーティスト・トーク」
■１月19日(土)午後３時～・松井智惠氏
■１月26日(土)午後２時～・森口ゆたか氏

【関連企画】
「ヤングコンサート
美博でフレッシュな
ニューイヤーコンサート」
■日時　１月27日(日)午後１時30分～３時　■会場　美術博物館ホール
■内容　「ゆっくり生きる。」をテーマとした、神戸山手女子高等学校音楽科学生によるコンサート

※関連企画には、すべて観覧料が必要です。

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432/FAX38-5434(伊勢町12-25)

ヒューマンライツシアター「友情」

白血病に侵されながらも健気に日々を生きようとする少女。14歳という多感な時期の少年少女たちと、周囲の人々の愛と善意を、深い感動と共感をもって描きあげた、文部科学省選定・厚生労働省推薦作品。(出演・三船美佳、柳葉敏郎ほか／監督・和泉聖治)

■日時　１月12日(土)①午前10時30分～午後０時13分②午後１時30分～３時13分　■会場　上宮川文化センター
■定員　各回先着100人

問い合わせ　上宮川文化センター　☎22-9229

消防出初め式

■日時　１月13日(日)＜式典＞午前９時40分～／＜パレード＞午前11時30分～／＜お年玉抽選会＞正午～
■会場　＜式典＞体育館・青少年センター／＜パレード＞本通り商店街／＜お年玉抽選会＞大桝公園
■内容　優良消防団員表彰・少年消防クラブおみこしパレード・潮見中学校吹奏楽部演奏／潮見中学校吹奏楽部・消防本部・消防団の火災予防広報パレード。
※雨天の場合は、式典のみの実施となります。
※抽選券は、午前11時から本通り「三佳」前で配布。

問い合わせ　消防本部管理課　☎38-2095